

平成28年度第1回法律学教育FD/ICT活用研究委員会議事概要

- I. 日時：平成28年4月22日（金）14:00-16:00
- II. 場所：私立大学情報教育協会事務局会議室
- III. 出席者：加賀山委員長、執行委員、高嶋委員、笠原アドバイザー、吉野委員（スカイプ参加）
井端事務局長、森下主幹、中村事務局員

IV. 検討事項

1. 市民の立場から法律を理解し活用できる法学教育の実現に向けた取組み
上記を実現するためのオープンな教育方法の具体的モデルの検討
2. 今後の研究の進め方について
3. その他

V. 議事概要

1. 初めに

事務局から平成28年度の事業計画について、本年度の学系別FD/ICT活用研究委員会では、ICTの利活用を含むアクティブ・ラーニングの教育・学修方法及び教学マネジメントの改善対策を研究するため、分野連携による対話集会を拡大して開催すること。目的は、体験事例から成功・失敗の原因と対策を整理するとともに、分野の壁を越えて知識を組み合わせる創造型教育の必要性、授業科目の統合化などの課題について理解の促進を図ることが報告・説明された。

なお、個別のテーマに取り組む4分野の内、会計学、法学分野はICTを活用した教養・学際レベルの分野横断フォーラム型教育モデルのとりまとめ、医学分野はICTを活用したアクティブ・ラーニングの現状と課題のとりまとめ、歯学分野は多職種連携によるフォーラム型教育モデルのとりまとめを行うとともにそれぞれ関連の対話集会に参加することが説明された。

2. 平成27年度の研究成果報告書について

加賀山委員長から資料により「市民の立場から法律を理解し活用できる法学教育に向けたオープンな教育方法及び具体的モデル」の平成27年度研究成果報告書が説明された。

委員の意見で、もう少し簡略化し、抽象的な表現にしてはどうかとの意見があったことから、加賀山委員長に「I. 大学における法学教育の危機的状況」、「II. 大学における法学教育の改革の視点」の部分の簡略化し、抽象的な表現に修正いただくことにし、修正いただいた内容を事務局で編集、図を入れて次回委員会（7月）でA4-2枚程度にして報告することにした。

なお、平成27年度事業報告書については事務局で取りまとめ、5月の総会で報告することとした。

3. 今後の進め方について

「サイバー空間における分野横断的フォーラム型授業」の具体的取り組みについて検討がなされた。主な意見は以下の通り。

- ・ 成果を具体化するためには、科研費等を使って実際に「サイバー空間における分野横断的フォーラム型授業」を実施してはどうか。
- ・ 私情協でサーバー等を用意して実験することができないか。
- ・ 私情協で環境を用意して実験することは費用、参加する学生の知財等の問題から困難である。
- ・ 知財等の問題は非公開のSNS等で実施することで回避できるが、学生、市民が自由に参加

できることが目的であり非公開では意味がない。

- ・ 参加者には知財等のオープン化について許諾をとることでオープンに実施してはどうか。
- ・ 私情協で環境が用意できればベストだが、難しいのなら、まず委員会の委員の中で実施してはどうだろうか。
- ・ 大学の地域・社会貢献の意味でオープンなフォーラムを有志連合で実施することは意義がある。
- ・ 参加する人には知的財産権を放棄することを了承してもらってはどうか。
- ・ 歯学の委員会でも検討を進めているが、私情協としては予算がかけられないので特別な費用が発生しない形で実験したい。
- ・ サーバーの管理などは共有すればそんなに金はかからない。レンタルサーバーを利用する方法もある。
- ・ まずは、金をかけずにトライアルし、これならできると目途が付いたら本格的に実施するのが良いと思う。
- ・ 公開して呼びかけてやってみる。できる先生、参加できるところでスタートしてはどうか。
- ・ 現在、消費者法教育の科研費があり、これを活用してトライアルすることはできると思う。また、別に科研費を申請することもできると思う。
- ・ まず、金をかけずにスタートアップ、うまくいけば金をかけてスタートする。本年の秋か、来年度にトライアルのスタートを検討したい。
- ・ 次回はこれらを踏まえて、トライアル案を検討してはどうか。

3. 今後の進め方

① 平成27年度の研究成果報告書について

加賀山委員長に「Ⅰ. 大学における法学教育の 危機的状況」、「Ⅱ. 大学における法学教育の改革の視点」の部分を簡略化、抽象的な表現に修正いただく。なお、挿入する図を縮小して、A4で2枚程度にする。

委員長に修正いただいた内容を事務局で編集、図を入れて次回委員会（7月）に報告する。

平成27年度事業報告書については事務局で取りまとめ、5月に報告する。

- #### ② 「サイバー空間における分野横断的フォーラム型授業」のトライアルについて、具体的に検討する。そのため、今日の議論を踏まえた上で、「トライアルモデル案」をもちよっていただき具体案を検討する。

VI. 次回日程

2016年年7月4日（月）14時からに決定した。